

高千穂町告示第84号

令和4年第2回高千穂町議会臨時会を次のとおり招集する

令和4年7月15日

高千穂町長 甲斐 宗之

1 期 日 令和4年7月20日

2 場 所 高千穂町役場議場

○開会日に応招した議員

藤田 利廣議員

田中 義了議員

佐藤さつき議員

板倉 哲男議員

磯貝 助夫議員

本願 和茂議員

中島 早苗議員

馬原 英治議員

坂本 弘明議員

工藤 博志議員

富高健一郎議員

富高 友子議員

佐藤 定信議員

令和4年 第2回 高千穂町議会臨時会会議録(第1日)

令和4年7月20日(水曜日)

議事日程(第1号)

令和4年7月20日 午前10時30分開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
日程第2 会期の決定について
日程第3 議案第39号 令和4年度高千穂町一般会計補正予算(第4号)
日程第4 議案第40号 財産の取得について
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
日程第2 会期の決定について
日程第3 議案第39号 令和4年度高千穂町一般会計補正予算(第4号)
日程第4 議案第40号 財産の取得について
-

出席議員(13名)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1番 藤田 利廣議員 | 2番 田中 義了議員 |
| 3番 佐藤さつき議員 | 5番 板倉 哲男議員 |
| 6番 磯貝 助夫議員 | 7番 本願 和茂議員 |
| 8番 中島 早苗議員 | 9番 馬原 英治議員 |
| 10番 坂本 弘明議員 | 11番 工藤 博志議員 |
| 12番 富高健一郎議員 | 13番 富高 友子議員 |
| 14番 佐藤 定信議員 | |
-

欠席議員(なし)

職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

局長 須藤 浩文

書記 南條 良夫

説明のため出席した者の職氏名

町長	甲斐 宗之	副町長	藤本 昭人
教育長	戸敷 二郎	総務課長	有藤 寿満
財政課長	興梠 貴俊	総合政策課長	戸高 雄司
税務課長	林 謙一	町民生活課長	甲斐 利一
企画観光課長	安在 浩	福祉保険課長	霜見 勉
農林振興課長兼農業委員会事務局長			佐藤 峰史
農地整備課長	江藤 武憲	建設課長	甲斐 徹
会計管理者	飯干 美恵	病院事務長	綾 浩樹
保健福祉総合センター所長			興梠 晶彦
上下水道課長	湯川 哲		
教育委員会次長兼教育総務課長			山下 正弘
監査委員	中尾 清美		

午前10時30分開議

○事務局長（須藤 浩文事務局長） 皆様、おはようございます。

御起立をお願いします。一同、礼。

〔起立・礼〕

○事務局長（須藤 浩文事務局長） 御着席ください。

議長の許可を得ていますので、暑い方は上着をお取りください。

○議長（坂本 弘明議員） ただいまから令和4年第2回高千穂町議会臨時会を開会します。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第1. 会議録署名議員の指名について

○議長（坂本 弘明議員） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、議長において、議席番号1番、藤田利廣議員、議席番号2番、田中義了議員を指名します。

日程第2. 会期の決定について

○議長（坂本 弘明議員） 次に、日程第2、会期の決定について議題にします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日1日限りとすることにしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（坂本 弘明議員） 異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は、本日1日限りとすることに決定しました。

日程第3. 議案第39号

日程第4. 議案第40号

○議長（坂本 弘明議員） 次に、日程第3、議案第39号から日程第4、議案第40号までの補正予算1件、その他議案1件の町長提出の議案合計2件の提案理由の説明を求めます。

最初に、町長の説明を求めます。町長、登壇願います。

○町長（甲斐 宗之町長） おはようございます。本日、第2回臨時会の開会をお願いいたしましたところ、議員各位におかれましては、御多用な中に御出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、本会議冒頭ではございますが、先日の参議院議員選挙期間中の7月8日、街頭演説中の安倍晋三元総理が凶弾に倒れ、命を落とされました。総理大臣としての通算在職日数が3,188日と最も長く、我が国の発展に尽くしてこられた御功績は誰もが知るところであり、誠に残念で決して許すことのできない事件でございます。安倍元総理の死去に際し、御冥福をお祈りいたしますとともに、心より哀悼の誠をささげたいと存じます。

私たちは、平和国家と言われる日本において、いつ何時、何が起こるか分からないことも実感したのではないかと思います。世界に目を向ければ、ウクライナでの紛争も終わりが見えない状況が続き、関連して、原油高騰や様々な工業製品等の原材料不足、食料品だけでなく家畜飼料や肥料に至るまで、多種多様なものの価格が上昇し、私たちの生活や生業に直接的な影響を与えております。

加えて、新型コロナウイルスについても、6月中旬までは減少傾向にあったものの、6月下旬以降、BA.5系統の新たな変異株の出現により感染が急拡大し、現在、第7波の大きな波に直面している状況であります。宮崎県内でも、7月13日には新規感染者が過去最多の1,198人を数え、18日発表の病床使用率は27.8%と、現在、県内全域に医療緊急警報が発令され、引き続き十分な警戒が必要な状況が続いております。

この新型コロナウイルス蔓延による経済影響についても、数年前では世界中で予想だにしないことでしたが、これも私たちに防災危機の意識で、もしもに備える大切さを再認識させるものになっていると痛感しているところでございます。今年は、梅雨の期間16日間と極端に短く終わりましたが、全国的にはゲリラ豪雨などの被害も相次ぎ、昨日も、九州地方をはじめ、各地で線状降水帯による豪雨がもたらされました。幸い、本町におきましては、災害級の豪雨は

免れておりますが、台風の襲来も含め、常に備える準備により被害を未然に防ぐ体制をしっかりと確保してまいりたいと存じます。

さて、本臨時会につきましては、国の新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用した原油価格・物価高騰等の影響を考慮した町独自の緊急経済対策事業について、早急な実施に向けた予算措置が必要であること、また、世界的な半導体不足等の影響により、次回定例会での上程及び可決を待っていては必要とする時期までに納入が困難と判断される車両や機器等についても、契約案件や予算計上など取り急ぎ議会にお諮りをする事項が生じたために、9月の定例会を待たず、開会をお願いしたところでございます。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

それでは、提案理由の御説明を申し上げます。

本日提案いたします議案は、補正予算1件、その他1件の合計2件でございます。

初めに、議案第39号令和4年度高千穂町一般会計補正予算（第4号）についてであります。歳入歳出予算の総額に4,084万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を90億7,138万2,000円とするものでございます。

今回の補正は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業として、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策事業、また、移住促進事業、コンピューター管理費の増及び国県支出金による財源組替えに関するものが主なものでございます。

次に、議案第40号財産の取得についてであります。本件は、令和4年7月4日に仮契約をしております高千穂町コミュニティバス——ふれあいバスの車両更新に伴うものであります。現在、予備車両3台を含む10台のふれあいバスを所有し、運行しておりますが、平成26年5月に購入した向山線の車両及び平成25年7月に購入しました日向線、土呂久線の車両2台が8年及び9年を経過し、故障が目立ち始めたことから更新を行うものであります。

2台の仮契約の金額が757万円でありますので、法の定めにより議会の議決を求めるものであります。

以上、私からの提案理由の説明でございますが、詳細につきましては、それぞれ担当課長が説明を行いますので、御審議いただきますようよろしくお願ひ申し上げます。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 以上で、町長の説明が終わりました。

これから関係課長の説明を求めます。初めに、議案第39号について、財政課長。

○財政課長（興梠 貴俊課長） それでは、財政課所管の議案第39号令和4年度高千穂町一般会計補正予算（第4号）について説明いたします。

今回の補正予算は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ4,084万5,000円を追加し、歳入歳出の総額を90億7,138万2,000円とするものであります。

それでは、6ページをお開きください。

まず歳入ですが、国庫支出金1,827万8,000円の増は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、県支出金1,571万5,000円の増は、宮崎ひなた暮らし実現応援事業補助金120万円及び宮崎応援消費拡大支援事業補助金1,451万5,000円です。繰入金685万2,000円の増は、財政調整基金繰入金です。

次に、歳出について御説明いたします。7ページをお開きください。

最初に、総務費556万円の増は、UJIターン事業160万円、コンピューター管理費396万円によるものです。農林水産業費2,178万5,000円の増は、飼料価格高騰緊急支援事業によるものです。商工費1,350万円の増は、宮崎県中小企業融資制度利用者への利子補給事業に関するものです。また、商工費及び教育費において、国県支出金に伴う財源組替えを行っております。

議案集の9ページ以降に歳入歳出予算の事項別明細書を、最終ページに、別紙といたしまして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業等の説明資料を添付しておりますので参考にしていただきたいと存じます。

以上で、財政課所管議案の説明を終わります。御審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（坂本 弘明議員） 続いて、議案第40号について、企画観光課長。

○企画観光課長（安在 浩課長） それでは、企画観光課所管の議案第40号財産の取得について御説明いたします。

町長が御説明いたしましたとおり、本町のふれあいバスは、現在、定員14人乗りの小型バス5台、10人乗り等を5台、計10台を所有し、20路線を委託運行しております。今回買い替える予定の車両2台は、購入後8年から9年が経過しており、走行距離も30万キロを超え、故障がしばしば起こる状態となっております。スムーズなバス運行と乗客の安全確保を図るため、ひなた線、土呂久線の1台、向山線の1台、合計2台を買い替えるものであります。

取得の方法は、見積書による随意契約、取得金額は2台で757万円、取得先は延岡市別府町4438番地宮崎トヨペット株式会社延岡店であります。令和4年7月4日に売買契約の仮契約を行っております。

地方自治法及び本町条例に基づき、財産の取得について議会の議決を求めるものでございます。

以上で、企画観光課所管の議案の説明を終わります。

以上、御審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（坂本 弘明議員） 以上で、町長提案の日程第3、議案第39号から日程第4、議案第40号までの議案合計2件について説明が終わりました。

ここで、議案熟読のため10時55分まで休憩いたします。

午前10時45分休憩

午前10時53分再開

○議長（坂本 弘明議員） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第3、議案第39号から日程第4、議案第40号までの補正予算議案1件、その他議案1件、合計2件を一括議題として質疑を行います。

また、質疑をされる方は、議会申合事項を遵守していただき、さらに、議案番号並びに答弁者を指名して質疑願います。質疑ありませんか。田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 飼料価格高騰緊急対策事業農業振興費の関係について、農林振興課長にお尋ねいたします。

まず第1は、5,000円と1万円の単価がどういうふうに定められているのか、また、この補助金の支給に対する間接的な費用は発生しないのか、それから、今回限りで……

○議長（坂本 弘明議員） 田中議員、一問一答でお願いいたします。

○議員（2番 田中 義了議員） すいません、じゃあ、単価の件、5,000円と1万円の件について、お尋ねいたします。

○議長（坂本 弘明議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（佐藤 峰史課長） 田中議員の質問にお答えいたします。

積算の根拠であります、まず繁殖牛であります、これについては、JA生産資材課取扱いの価格、令和3年4月と令和4年4月の価格差、繁殖牛で言いますと12.65円、肥育牛が10.8円になります。そして、1頭当たりの1日平均給餌量は、繁殖が2.3キロ、肥育が8キロ、1日当たりの単価に直しますと、繁殖で29円、肥育牛で86円上がります。これを年間の価格で出しますと、繁殖牛が1万585円、肥育牛が3万1,390円となります。この1年間の値上がり価格、繁殖牛1万585円のうちの1万円、肥育牛につきましては3万1,390円の3分の1となります1万円、肥育牛は2分の1の5,000円ということで金額のほうを算出しております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 農林振興課長さんにお尋ねいたします。この補助金の支給に対する間接的な費用は、幾らぐらいで予定されているのでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（佐藤 峰史課長） この交付金の支給につきましては、JA高千穂地区と協議をいたしまして、JA高千穂地区からの各畜産農家へのお支払いということをやっていたと

うことで、その費用については今回はかかっておりません。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 農林振興課長さんにお尋ねいたします。今、農協と共同してやるような話がありましたけど、農協サイドでも補助金が出ているのでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（佐藤 峰史課長） 農協のほうにつきましては、畜産支援資料高騰対策ということで資材購入券の配付を行っております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中議員、よろしいですか。田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 農林振興課長さんにお尋ねいたします。昨年の4月と今年の4月の格差でやられたということですが、今後また、そういうようなことが起きた場合も、この補助金を使えるのでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（佐藤 峰史課長） 今後につきましては、今、県のほうからも、今日、新しく原油高騰、それから物価高騰関連に対する事業の説明会を本日開催されます。その中で事業説明等ありますので、今後につきましては、当面する課題へ関係機関と連携しながら対応していきたいというふうに考えております。

以上です。

○議員（2番 田中 義了議員） 終わります。

○議長（坂本 弘明議員） よろしいですか。

○議員（2番 田中 義了議員） はい。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） すいません。先ほど農林振興課長が説明した内容が、ちょっと誤りがあったような気がしましたので。繁殖牛と肥育牛の表現が逆だったと思うんですけれども、肥育牛が1万円、そして繁殖牛はその半分の5,000円ということでをさせていただきたいと思えます。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） よろしいですか。ほかに質疑ありませんか。工藤博志議員。

○議員（11番 工藤 博志議員） 11番、工藤。議案40号について、企画観光課長のほうにお伺いしたいと思います。

今回、車両の2台の入替えということですが、その2台の下取り価格は発生したのかど

うかをお伺いしたいと思います。

○議長（坂本 弘明議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（安在 浩課長） 現在、仮契約を結んでいる状態で、まだ、発注も行えておりませんので、ですので、まだ下取りがあったかどうかというのは、まだ判明しておりません。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 工藤博志議員。

○議員（11番 工藤 博志議員） 下取りが発生しないままに仮契約ができるかどうか、ちょっと疑問に思うわけですが、消防車両等々は、もう下取りなしというようなことで、車両価格ですね、で、現在、コミセンの裏の方に駐車してありますが、あれは競売にかけて販売される予定だろうというふうに思いますけれども、過去のふれあいバスはどうだったのか分かりませんが、今回は契約書の中に下取り価格が書いていないとか何とかちゅうことでしょうか。今後の本契約で下取りが発生するというのは、若干疑問があるんですが。

○議長（坂本 弘明議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（安在 浩課長） 今回、契約につきましては、もう売買する契約のみでございまして、この後の車両の使い道につきましては、これを使わなくなったら使いたいという事業所等から話も来ているということで担当から聞いております。ちょっと詳しい内容については、ここには持ってきておりませんが、そういったことで有効に活用していきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 工藤博志議員。

○議員（11番 工藤 博志議員） 今回の契約書の中に下取り価格が発生したかどうかを聞いていますよね。だから、今の答弁では、発生していないということですよ。その後、町の財産として処分したいということですよ、そういう答弁ですよ。（「はい」と呼ぶ者あり）はい、理解しました。

それで、今回この車両購入については、3月の定例会で、当初800万で議会は承認しているところでありまして。それが今回、予算を執行されて、予算の範囲内で車両2台を購入されるということでもありますけれども、議運のほうでも若干、触れさせてもらいましたけれども、これ1台ずつにした場合は、法定の700万にならないわけですよ。だけ、ここに契約すれば、700万以内ですから法の定めによって議会の議決を得なくてもいいということになるわけですが、こういう事例は過去にもあったかとは思いますが、今後、議会の審議の短縮、あるいは行財政改革の一環として、個々に、1個ずつに契約すれば700万以内に収まるような事件については、執行部のほうで事務手続を簡素化するなりいろんな方法、あるいは条例を改正

して行政改革をやっていただきたいというような考えを持っているんですが、これについては課長は大変かなと思います。町長、いかがでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 工藤議員の御質問にお答えいたします。

確かに個別に契約をすれば、700万を超えないということでございますけれども、2台同時に購入することによる全体の経費削減ということを狙ってといますか、そこを目的としての契約でございますので、それについては、なかなか監査委員もおられるので、なかなか難しいところもありますけれども、その時期がずれるということになれば、そのような計画も可能かと思えますけれども、同時に購入することによる全体の費用削減ということを考えれば、今回の2台同時購入での議会の議決を経なければならないという手続については、やむを得なかったかなというふうに思いますが、御意見につきましては、町として受け止めさせていただいて、今後、手続的に簡素で済むような対応ができれば、今後の検討課題としたいというふうに思います。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 工藤博志議員。

○議員（11番 工藤 博志議員） 高千穂町の条例にもそううたってある以上は、なかなか大変だろうとは思いますが、当初から、我々はもう2台というのは議会も理解しているわけですね。それを今回800万以内で収まった、757万円を2で割れば、三百七、八十万程度になるわけですね。1台が三百七、八十万ということに掛ける2台というような契約をされれば済むだけのことではないかと。で、合算した場合に757万円になるわけですから。そういった手法も今後は考えていただいて、やはり全てが条例にのっとってやるじゃなくて、そこら辺りは条例も改正しながら、前向きにどんどん、こういうのは事務手続の簡素化という意味でも、やっていただきたいと思いますが、再度、町長のほうに。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 工藤議員の御質問にお答えいたします。

単体としての価格で判断するというようなことも可能かなというふうにも思いますが、また、そこについては、条例についても、御意見を頂いた部分について、財政課を中心に執行部で検討してみたいというふうに思います。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） よろしいですか。

○議員（11番 工藤 博志議員） はい。

○議長（坂本 弘明議員） ほかにありませんか。本願和茂議員。

○議員（7番 本願 和茂議員） 議席番号7番、本願です。議案39号、先ほど田中議員が質疑

した内容に関連しますが、15ページの飼料価格高騰緊急対策事業補助金2,178万5,000円について質疑いたします。

先ほど内容を詳しく説明されたので詳細は分かりましたが、肥育農家、そして繁殖農家共に高騰している部分を補填するということになってはいますが、繁殖農家からすると、肥育農家に関しては、せり値で購入価格で補填していますので、肥育農家と繁殖農家、一律に補償する必要はないのかなという気持ちもあります。今後、9月市に、この補償が反映されて、せり価格が従来のように戻るということをお願いしているところではありますが、万が一、この支援をしたにもかかわらず9月市でせり値が戻らないという状況が生まれたときは、どういった対応を考えているのか、町長に伺いたいと思います。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 本願議員の御質問にお答えいたします。

肥育農家と繁殖農家のその飼料代の補填の差というのは、先ほど農林振興課長が説明したとおりでございますけれども、JAにおきましても、それぞれの牛1頭当たり3,000円の飼料券の配布ということで、もう動き始めておりますけれども、JAとして、また別に子牛を購入いただいた県外の肥育農家の牛の輸送費用1頭当たり5,000円ということで打ち出して、今回のせりから適応ということでございまして、管内の子牛導入のあった肥育農家に対する、その費用は1頭当たり2,000円ということで支援を打ち出しております。

そういった支援を打ち出したことによってというのもあるかと思いますが、今回、前回市よりも3万近くというか、平均です、上がりました。購買者が増えるということで、子牛の価格は、よりせりが活発になって値段が上がっていくということが見えた結果かなというふうにも思いますし、また、飼料代の高騰については、穀倉地帯にあるウクライナからの輸出が少し解禁になりそうだというような情報もあり、肥育農家の先行き不安が少し減ったのかなというところも大きいかと思います。その辺りの先行き不安を解消するというので、肥育農家により少し手厚い支援をすることによって、肥育農家がより子牛を買おうとするその意欲を上げていくということが非常に大事だというふうに思っておりますので、肥育農家に対しては少し手厚い支援をしたということでございます。

今回、次回9月市で価格がどうなるかというのは、なかなかこれ見えないところではございますけど、購買に来られる肥育農家は、管内だけでなく県内、または県外からも多くの購買者が来られますので、この辺りの購買意欲については、なかなか高千穂町だけで、すばらしい、いい環境をつくっていくのは難しい部分もございまして、この辺りは、また国県のほうでも新たな対策が打ち出されるというふうに思っておりますので、そこ辺りと連携して、さらに必要があるということでJAと相談をして、町としても新たな交付金も恐らく下りてくるんじゃないかなという

ふうに思っておりますので、必要があれば、またJA等と相談をいたしまして新たな対策を打つということも考えたいと思いますけども、一旦は底値を打ったのではないかなど、これから上昇傾向にあるんじゃないかというふうに期待をしているところであります。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 本願和茂議員。

○議員（7番 本願 和茂議員） 年内いっぱい、ロシアのウクライナ軍事侵攻が終結しないともマスコミで報道されていますし、終結して、すぐに粗飼料、肥料、飼料が元の価格に戻るとも期待はできていませんが、今回のその高騰については、明らかにロシアの軍事進攻による高騰でありますから、今までのように定期的に上昇する額と、ちょっと桁が違いますので、その辺は、しっかり行政を注視して、一次産業生産者に負担にならないように、JAとしっかり意見交換をして、負担にならないように飼料価格が元の値段に戻るよう働きかけをしていただきたいと思います。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） ほかにありませんか。中島早苗議員。

○議員（8番 中島 早苗議員） 8番、中島です。企画観光課長にお聞きします。

別紙の地方創生臨時交付金のその他の事業ということで、UIJターンの推進事業として、移住支援補助金として県から120万円、一般財源から40万円上がっておりますが、これは今回のみでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（安在 浩課長） 中島議員の御質問にお答えいたします。

この宮崎県ひなた暮らし実現応援事業というのが、令和4年度までの補助要綱になっております。県のほうが、また次の要綱をつくるのではないかと考えておりますが、今回は、この事業を使って、2人以上の世帯が2世帯で単身の世帯が一組ということになっております。

県の補助要綱については令和4年度に、今回の事業については終了と聞いておりますが、また情報をつかんで新たな支援策を講じていきたいと考えております。

○議長（坂本 弘明議員） 中島早苗議員。

○議員（8番 中島 早苗議員） ちょっと、そこで町長にお伺いしますけれども、こういった補助事業等があれば、移住される方にとっては大きなメリットだと思うんですね。また、それが一つの魅力になってくると思います。

そこで、県の補助というのは4年までということですので、もし金額が下がっても、町負担として、このような支援をされるというお考えはないでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 中島議員の御質問にお答えいたします。

私どもとしては、県の事業が得た事業がありますので、それを活用させていただいておりますけれども、恐らく県のほうも引き続きこのような事業をやっていくのではないかと私は見ているところでありますけれども、どうしても単価が下がるということでありましたら、町独自としても、この効果を見極めながら単独での事業継続ということも念頭に置いておきたいというふうに思っております。

移住定住、推進するということは本当に必要な対策だというふうに思っておりますので、何らかの措置を講じていくということで考えていきたいと思っております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 中島早苗議員。

○議員（8番 中島 早苗議員） 本当に先ほどおっしゃっていますように、これからも本当に大事な事業となると思いますので、その辺よろしくお願ひしたいと思っております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） ほかにありませんか。馬原英治議員。

○議員（9番 馬原 英治議員） 9番、馬原です。議案40号について、企画課長と町長に質問いたしますけれども、初めに企画課長に質問いたしますけど、先ほどの説明で、この車購入については随契ということで伺っておりますけれども、平成2年と3年、そして今年、平成4年度に2台ですけど、合計4台も、その延岡のほうから購入契約をされたということですか。

○議長（坂本 弘明議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（安在 浩課長） 馬原議員の御質問にお答えいたします。

令和2年度は、宮崎トヨペット延岡店、そして令和3年度も宮崎トヨペット延岡店で購入をしております。

○議長（坂本 弘明議員） 馬原英治議員。

○議員（9番 馬原 英治議員） このふれあいバスも、大体19年になりますけれども、令和2年度前は購入の実績がないわけなんですけど、今後、やっぱり10台ありますけれども、今後の買換え時期とかそういうのが、大体あと残りの4台ですか、分かりましたら教えていただきたいと思っております。

○議長（坂本 弘明議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（安在 浩課長） 購入予定ではありますが、今現在、走行キロが30万キロに近づいてくると、やはり故障がちになってきます。ですので、30万キロになる前ぐらいには買い換えたいなというふうに考えておまして、今現在、五ヶ所線を来年度1台買い換える予定として提案させて、予算化させてもらいたいなと考えているところです。

○議長（坂本 弘明議員） 馬原英治議員。

○議員（9番 馬原 英治議員） といいますのも、ここで質問したのは、やっぱり販売店は延岡でありますし、町の方にも販売店があるわけなんですけれども、条例で決まっているか分かりません——と思いますけれども、その辺で、できれば、町内支援という形でやっていく方向性はあるのでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（安在 浩課長） 今回もやっぱりディーラーさん3社に見積りをお願いしたところであります。今回、10人乗りの四駆を頼んでおります。3社につきましては、宮崎トヨペット延岡店、宮崎トヨタ自動車延岡店、トヨタカローラ宮崎平原店ということで3社にお願いしているところです。

10人乗りの四駆は日産にはないということで、トヨタだけに絞っての見積りの依頼なんですけど、ふれあいバスというのは自動ドアであったり色を塗ったり、やっぱりディーラーさんであると購入価格が安くなるというメリットがありますので、町内業者に見積りを依頼したことはありませんが、そういったメリットのほうが大きいという判断で延岡のほうに見積りを依頼しております。

○議長（坂本 弘明議員） 馬原英治議員。

○議員（9番 馬原 英治議員） 今後は、そういう事業でありますけれども、やっぱり町内の業者と、そのぐらいの380万、1台ですね、そういうのが町内の業者では幾らになるかとか、そういうメンテナンスの面がありますけども、車検とかタイヤ交換というのは町内の業者でされていると思うんですけども、そういう方向性を今後は見つけていただきたいと思いますが、ふれあいバスの、できれば令和3年度の収支といたしまししょうか、場所使用料と、歳出、収支、そして利用者数が、特別委員会もありますけど、分かれば、今のを教えていただきたいと思いますが。

○議長（坂本 弘明議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（安在 浩課長） 昨年度の収支については、歳入904万円、経費支出につきましては8,029万円、収支がマイナスの7,125万円でございます。（「数量、人数は」と呼ぶ者あり）人数ですね、コミュニティバス10台についての20路線については1万5,889人、幹線バスにつきましては4万434人、合計の5万6,323人です。

○議長（坂本 弘明議員） 馬原英治議員。

○議員（9番 馬原 英治議員） 行政としても、この減少額に対しては、タクシー代行とか、それを支給されたり、運賃値下げとか時刻表とか路線増加で対応されてきたと思うんですけども、この現状の中で今後を考えると、この中身は特別委員会がありますんで控えますけれども、そういうのを踏まえた中で、町長にお伺いいたしますけれども。

私が調べて、当初、平成17年に8路線で始めたわけなんですけども、使用料が2,600万

円、そして、経費が4,000万かかりまして、マイナスの1,400万円で17年度にほとんどスタートをしたわけなんですけれども、その中で今言いましたように運賃の値下げとか路線の増加で、一時期人数が8万人の時期もありましたけれども、次の次の年には6万7,000人に減っております。

その中で一番気になるのが、令和元年度の決算で見ますと、使用料が1,100万、2,600万が1,100万に落ちている。今の課長の報告でしたら900万まで落ちると。その中で、歳出、元年度が7,500万ありまして、委託料が6,100万、この委託料というのが、本当に努力の結果ではありますけれども年々増加の傾向にありまして、単純計算でこのふれあいバスの件は、ほとんどタイヤ修理、燃料代とか、高千穂町で出しておりますけど、人件費じゃないかと思うんですけども、単純計算の中で、10台回って10人、1日1万円払った場合に人件費が10万円です。これで300日動いた場合に、大体人件費が3,000万から多く見積もっても4,000万飛ぶんですけども、その辺の委託料に関しましては、延岡高千穂線もそうなんですけども、10年前が高千穂町の負担が400万円、今年予算を見ましたら、大体700万円近くになっておるんですけど、やっぱりそこ辺は再協議して、町としても再認識する必要があると思うんですけど、その辺はどうでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 馬原議員の御質問にお答えいたします。

確かに、ふれあいバス、コミュニティバスの部分の委託料も完全に赤字ということでございますけれども、福祉的な意味が強くなっているというふうに思っております。これについては、ここ2年ほどといたしますか、路線の見直しというところも本格的に考えなくてはならないというふうに企画観光課と共に協議をしているところでございます。

本当に、1年で1人も乗らないバスというようなところも実際にはございます。以前には乗っていたんだけれども今は乗る方がいなくなっているというようなことも、現状として今分析をしておりますけれども、そこ辺りについては、タクシーの利用等も含めて、抜本的な新たな移動手段の確保ということを考えなければならないということで検討しております。

ほかの自治体では、ふるさと支援員というような制度もあって、地域の担い手といいますか、そういった皆様が、地域の皆さんの移動手段を確保するようなことも行われているところがありますので、そういったところが高千穂町でも導入できないかと、そして、ふれあいバスの運行台数を減らすといったことを抜本的に考えることはできないかなというふうに検討しております。

運輸局等に相談をしますと、やっぱりプロのドライバーといいますか、しっかりした会社で安全性が確保できないと、なかなかお勧めできませんねというようなお話もあって、なかなかこちらの意向とは、うまくマッチングしないといったところがございまして、そこが今、検討課題で

ございます。

また、幹線延岡高千穂間についても、これは県のほうでも報道等でも話題になりましたけれども、西都・佐土原間を宮交じゃないところに委託をしてやっていく必要もあるんじゃないかといったことでありましたが、最終的には宮交さんがということになりましたけれども、この辺りについては、赤字をどこまで補填するのかということについて、今、県全体でバス対策協議会の中で、その自治体の支援の在り方、また路線の運行形態の在り方、事業者も含めてですけども、そこが今、県全体で協議をされているところでございますので、高千穂町としても、しっかり思いを伝えまして、赤字負担、そういったところの公平性、そして、真に移動手段に関わる部分の赤字のみを補填させていただいて、自治体としての負担が少しでも減るようにということ考えているところでございます。

また、県のほうにおいても、たしか13億円ほどの基金をつくって、この県全体の幹線バス路線をどう維持していくかということを考える、そういった検討を進めておりますので、そこでしっかりと高千穂町としての意見を述べつつ負担を減らしていくということで検討していきたいと思っております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 馬原英治議員。

○議員（9番 馬原 英治議員） 今、町長が言われましたように、路線の変更、これは町民のいろんな意見がありますし、行政、また議員独自では決められないところがあるんですけども、その中で、私は町長にちょっと提案したいんですけども。やっぱりこの実情を町民の方が御存じないと、そういうところがあるんじゃないかと思うんですよね。町民に、例えば、その利用者意識をもう少しでも持っていただくということで、町広報を通じて、今までの実績とか赤字額を明確に開示するべきだと思いますし、昨年度、一つだけうれしいことは、これは令和2年度ですね、岩戸線と山附線と河内線が令和2年度の決算を見ましたら増えております。その辺のその人たちの意識向上とか生活環境の変化になって、少しずつでも好転すればと思いますけど、広報誌掲載とか住民開示については、やっぱり住民ももう少し認識するべき点があると思うんですけども、その点は町長、どうでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 馬原議員の御質問にお答えいたします。

確かに今の現状を知ってもらうということは非常に大事なことだというふうに思っております。

これは、先日といいますか、全体の公民館長会で各公民館長さん方に、この停留所ごとの乗車実績であるとかそういったところ、現状をお知らせする資料をお配りし、企画観光課のほうから説明をさせていただきました。

その際に、将来的にこういった路線を見直す必要があるんじゃないかと。そして、できれば地域の、先ほど申しあげました集落支援員みたいな制度が導入できないものではないかという投げかけについて行っているところでございます。

今後、また、公民館長さん方が全ての地域の皆さんにそういった現状をおつなぎしていただくというのは、なかなか難しい部分もあろうかと思っておりますので、全ての世帯に届く広報紙等でも、その辺り、周知をし、そして少しでもふれあいバス、利用していただきたいということについてのお願いということも周知をしていきたいというふうに思います。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 馬原英治議員。

○議員（9番 馬原 英治議員） 今の町長の答弁です。やっぱり町民がそういう意識改革の中で本年度決算のほうも、先ほど聞きましたら7,000万円近くになりますし、そこら辺を、ここで、この議場で知るんじゃないかと、町民がそれを再認識していただいて、今後どう扱うべきかというのを、やっぱり町民意見の中から変革していく時期が来ているんじゃないかと思っております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） ほかに質疑はありませんか。板倉哲男議員。

○議員（5番 板倉 哲男議員） 5番、板倉です。39号について、企画観光課長にお尋ねしたいと思っております。簡単に1点だけです。

15ページの移住支援補助金のところで、先ほど中島議員からも質疑あった件の課長の答弁で、2人以上の世帯が2組、1人の世帯が1組という説明があったんですが、その2人以上の世帯について、子供さんがいるのかどうか、もし分かればお教えください。

○議長（坂本 弘明議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（安在 浩課長） 板倉議員の御質問にお答えいたします。

2人以上の世帯が2世帯ありまして、1世帯にはお子さんが1名おります。

○議長（坂本 弘明議員） 板倉哲男議員。

○議員（5番 板倉 哲男議員） 1組には子供さんがいるということですが、今回、私も調べて初めて知ったことなんですが、市町村が独自に18歳未満の子供に対してその移住した世帯に追加で支援をしているというところがあるようです。結構、宮崎県内26市町村ありますけど、そのうち12の市町村が1人当たり、子供1人につき30万円とか、若干その市町村によって違いがあるんですが、そういう18歳未満の子供がいる世帯に上乗せで支援をしている市町村があるようです。

現状、高千穂町はそうしたことをしていないということになると思うんですが、やはり町としても移住者に来てもらいたいのはやまやますし、さらにいうと、やはりどういう世帯に来て

ほしいのかというときに、これから高千穂町を担ってくれるような人に育つような、子供がいる世帯に来てもらうほうが、町としてのメリットも大きいんじゃないかなというふうに考えます。

ぜひ、今後、また来年度の予算編成等もしていくことになると思いますが、先ほど町長の説明も、県としても今後もこういう移住支援はしていくんじゃないかと、もし県のほうでなかった場合は町単独でというような話がありましたけれども、今後、来年度以降等で、子供がいる世帯には、さらに上乗せで移住支援をしてもいいのではないかなというふうに個人的には思いますが、その辺り、町長のお考えがあればお聞かせください。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 板倉議員の御質問にお答えいたします。

確かに、お子さんがいらっしゃる家庭というのは、非常に少子化対策ということを考えましても、大変、町としてはありがたいというふうに思いますので、そこ辺り支援については、前向きに考えてもいいのかなというふうに思います。

ただ、金額等につきましては、精査をしたいというふうに思います。移住支援金についても、なかなかいいことももちろんありますけれども、中には一部ですね、いろんな市町村を渡り歩いて、そういった支援金をもらっているというような事例もゼロではないというふうに聞きますので、しっかり定着をしていただく、あるいは、例えば、何年か住んでいただくといったところで支援金を出すといったようなことも考える必要があるのかなと思います。その条件も含めて、ちょっと検討したいというふうに思います。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） よろしいですか。ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（坂本 弘明議員） ほかになければ、これで質疑を終わります。

これから、補正予算議案1件、その他議案1件について、討論、採決を行います。

最初に、議案第39号高千穂町一般会計補正予算（第4号）について、討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（坂本 弘明議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。議案第39号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（坂本 弘明議員） 起立全員であります。したがって、議案第39号は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第40号財産の取得についての討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（坂本 弘明議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。議案第40号について原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（坂本 弘明議員） 起立全員であります。したがって、議案第40号は原案のとおり可決されました。

○議長（坂本 弘明議員） 以上をもちまして、本日の日程は全て終了しました。会議を閉じます。

以上で、令和4年第2回高千穂町議会臨時会を閉会します。

○事務局長（須藤 浩文事務局長） 御起立をお願いします。一同、礼。

〔起立・礼〕

午前11時36分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

年 月 日

議 長

署名議員

署名議員